

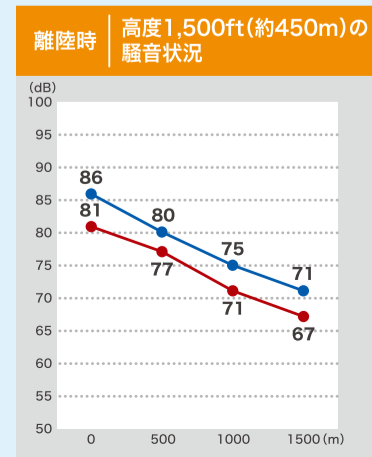
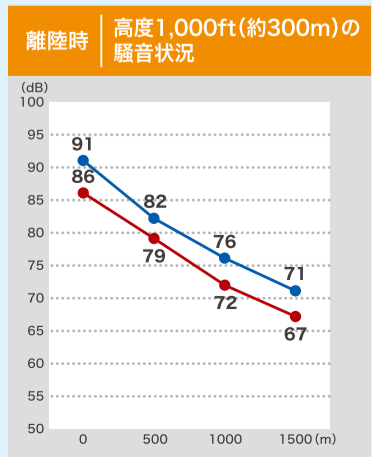
川崎市上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定

運用時間：15時～19時(切替時間を含むため、実質3時間程度の運用)

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用

※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです



- 左表は飛行経路直下を0mとし、そこから側方距離と騒音の関係を示したグラフです。騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、地上観測点での騒音値※を推計した値です。
- ※ 航空機1機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
- 実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
- 航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。

※ デシベルとは、音の強さを示す単位(音圧)。騒音レベル(L_A[dB])での瞬間最大レベルを示したものです。

■ 大型機 (B777-300)
■ 小型機 (B737-800)

現状(航空機が飛んでいない時)の騒音レベル

- 住宅街(殿町付近)
平均値: 約50dB
瞬間最大値: 約76dB
- 駅前(小島新田駅前)
平均値: 約55dB
瞬間最大値: 約87dB
- 幹線道路(浮島通り沿い)
平均値: 約65dB
瞬間最大値: 約85dB

※10分程度の簡易測定による参考値